



山林を 火事から守ろう!

新緑を迎え、ドライブやハイキングなどに絶好の季節となりました。春先のこの時期は空気が乾燥しているとともに、山林には枯葉や枯れ草が多くあり山火事が発生しやすくなっています。山火事はひとたび発生すると、市街地の火事と異なり、道路状況・消火用水の不足などの条件により、消火活動が非常に困難で大火事となる危険性があります。

当消防本部管内は実に面積の約80%を森林が占めており、いままで何度も大きな山火事に遭ってきました。中でも平成9年3月には甲州市勝沼町において、焼損面積が374haにおよぶ大規模な山火事が発生しました。（これは東京ドーム約80個分に相当します。）

これから暖かくなり山に入る機会が増えてきますが、特に風の強い、空気の乾燥している時には、火の取り扱いに十分注意していただき、貴重な森林資源を守っていきましょう。



山火事を防ぐ6つのポイント



- ・枯れ草などがある火事の起こりやすい場所では、たき火をしないこと。
- ・たき火等火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること。
- ・強風時や乾燥時には、たき火、火入れをしないこと。
- ・火入れを行う際、許可を必ず受けること。
- ・たばこは、指定された場所で喫煙し、吸殻は必ず消すと同時に、投げ捨てないこと。
- ・火遊びは絶対にしないこと。